

双葉西小だより

令和3年 8月26日 文責 学校長 平塚 克人



朝顔グリーンカーテン（校庭側より）



二学期 スタート

朝顔グリーンカーテン
（職員室側より）



本日26日（木）に36日間の夏休みを終え、一段とたくましくなった子供たちが、元気よく登校してきました。夏休み前半は東京オリンピックで多くの日本選手の活躍により日本国中が盛り上がりました。しかし、深刻さを増すばかりの感染症拡大、長雨や豪雨による災害等、夏休み後半は残念な報道が目立ちました。それでも、2学期登校初日の子供たちの輝く笑顔からは、制限があった中にも楽しく充実した夏休みであったことが伺えました。夏休み中、子供たちが大きな怪我や事故もなく元気に過ごすことが出来たのも、保護者や地域の皆様の日常的なご支援・ご指導のお陰であると思っています。心より感謝申し上げます。

来月12日までの蔓延防止等重点措置及び24日の知事の会見を受け、来週から2週間の分散登校日になります。本校も、より慎重に感染症対策を施した上での2学期のスタートとなります。各ご家庭でも、感染症対策に加えまして、しばらくは厳しい残暑が続くとの予報も出ておりますので、子供たちの体調管理を第一に、学校生活のリズムを取り戻せますよう、ご協力をお願いいたします。

☆☆☆ 2学期始業式での校長の話から（一部抜粋） ☆☆☆

さて、一昨日から東京2020パラリンピックが始まりましたが、夏休み前半に行われました東京オリンピックでも多くの日本人選手が活躍しました。きっと、皆さんもテレビで見たことと思います。スケートボードでは皆さんの年齢に近い13歳の西矢 桜選手のように10歳代の選手たちが活躍していましたね。また、選手だけではなく、多くの役員やスタッフ、ボランティア、医療関係者などが関わってあのような大きな大会が成立していたことも見逃すことはできません。

そんな中、テレビコマーシャルや会場の掲示で、こんな言葉を見たり聴いたりしませんでしたか？英語ですが、Sustainable Development Goals です。分かる人はいるでしょうか？もし、Sustainable Development Goals で分かったとしたら、今から私が話すことをよく知っている人です。Sustainable Development Goals, 略して「SDGs」です。「SDGs」と言うと、聴いたことがあるのではないのでしょうか。少し難しい話になりますが、「SDGs」とは、持続可能な開発目標という意味です。どういうことかと言いますと、自分だけまた日本だけが、良ければよいのではなく、世界中の人達が手を取り合って誰も置き去りにせず平和な地球・世界を未来へ引き継いでいこうということです。そのことに向けて、2030年までに達成すべき17の目標があります。

今日は、その17の目標の中から6つを紹介します。1. 貧困をなくそう。10. 人や国の不平等をなくそう。11. 住み続けられるまちづくりを。13. 気候変動に具体的な対策を。16. 平和と公正をすべての人に。17. パートナリシップで目標を達成しよう。

なかなか難しいことかもしれませんが、少しでも皆さんに知っておいてもらおうと思いまして紹介しました。その他の目標と一緒に校長室前の廊下に掲示しておきますので通りかかったときに、ぜひ足を止めて見てください。

この後、養護教諭の信田先生から感染症対策のことにつきまして、お話ししていただきます。せっかく今日と明日は全校の皆さんと一緒に登校できますが、感染症拡大防止のために、来週から2週間は1日おきに登校することになります。家にいる時間が多くなりますが、今一番大切なことは感染症に気をつけることです。しっかりと信田先生のお話を聞いて感染を防いでいきましょう。

夏休み中、学校では・・・



農園で大根栽培の準備

学校応援団の功刀さんと2年担任の3人で、2学期の大根栽培のために畝作りをしました。



職員プログラミング研修

「アイやまなし」さんを講師に招き、職員のプログラミング研修を行いました。



夏季学習会

8月2～6日に各学年3日ずつ行いました。どの子も、大変素晴らしい集中力でした。



1学期の学校の様子、まだまだありました・・・



甲斐市教育委員会学校訪問

7月13日(火) 5・6校時に宮坂教育長をはじめとしまして6名の皆様に全学級の授業観察の後、ご指導を頂きました。ご指導を頂きました内容をいくつか紹介します。

- ★授業で端末を使っている学級が多かった。また、端末だけでなく、デジタル教科書を使っている学級も見られた。子供たちの意欲・関心を高めるために有効であると感じた。
- ★長寿命化計画により双葉西小は令和4年度に設計、令和5・6年度に工事を行う予定。
- ★特別支援学級の子供たちも午後の授業を頑張っている様子が見られた。
- ★本校の1学級の児童数は20人半ばほどなので適度な人数だと感じる。ただ、年度初めの4年生のように学年が1学級になってしまう可能性が今後も危惧される。
- ★どの先生方も机間巡視や声かけ等の子供たちへのはたらきかけを行っている様子を多く見受けた。子供たちに寄り添っての温かな指導を感じた。
- ★学習規律の素晴らしさからは、コミュニティ・スクールで学校応援団の方々にお世話になっている積み重ねを感じた。

聖火ランナートーチ

本校卒業生の佐伯様のご厚意によりまして、佐伯様が実際に6月26日に聖火ランナーとして使用しましたトーチを1週間ほど学校で借りることができました。各学級で子供たちが手にすることができました。



ミニコンサート

音楽委員会主催により、低中高学年毎3日間で行われました。歌やダンス、演奏、音読等、どの発表も工夫された内容で、音楽を身近に感じました。



1・2年プログラミング学習

教頭先生の指導の下、タブレットのビスケットアプリを使い、アニメーションの初歩を学習しました。自分で描いた魚が泳ぎ、子供たちは大喜びでした。



3年養蚕文化継承学習

1ヶ月ほどに渡りまして、子供たちが毎日のように家に持ち帰り、我が子のように大切に自分のカイコを世話してきました。命の大切さやカイコへの愛情等を学ぶことができた貴重な体験でした。

